

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	トレーナー概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎301
担 当 教 員	井上 佳子	実務経験と その関連資格		塩野義製薬 女子ソフトボール部(2000年～2002年) 15人制 女子ラグビー日本代表トレーナー(2013年～) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー, 保健体育免許, 健康運動実践指導者		

《授業科目における学習内容》

本講義では、スポーツ環境におけるATの役割とその業務を具体的に示し、JSPOAT養成の歴史的背景や趣旨、設立に至った背景および諸外国の状況を理解し、ATの組織的な活動に触れ、その位置づけや運営管理について学び、コーチ、スポーツドクターなど様々な分野の専門家といかに連携をとって選手をサポートしていくなどATが現場で活動する上で必要な知識を養うとともに、社会的秩序や倫理観を身につけることをねらいとする

《成績評価の方法と基準》

試験素点70%(筆記試験)

出席点 20%

平常点 10%(レポート提出や授業態度を含む)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第1巻アスレティックトレーナーの役割 (日本スポーツ協会)

《授業外における学習方法》

高校生を対象に勉強会を開く設定で、RICE処置、ストレッチング、熱中症を防止するための水分補給、試合前の栄養学などについて事前学習をレポート提出する(配付資料をイメージして作成する)

《履修に当たっての留意点》

アスレティックトレーナーの役割を十分に理解するための土台科目となります。これから現場に出ていくまでの基礎科目になるため、7つの役割を具体的に理解していきましょう。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	トレーナー業務について理解できる	・アスレティックトレーナー専門科目 テキスト 第1巻アスレティックトレーナーの役割 (日本スポーツ協会)(以下AT教本) ・配布資料	ATが出来ること、柔道整復師ができるなどをピックアップしていく
	各コマにおける授業予定	A:ATとは		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	ATの任務、役割が理解できる	・AT教本 ・配布資料	前回の資料を見直す
	各コマにおける授業予定	B:ATの役割①②		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	ATの具体的な業務が理解できる(1)	・AT教本 ・配布資料	前回の資料を見直す
	各コマにおける授業予定	B:ATの役割①②		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	ATの具体的な業務が理解できる(2)	・AT教本 ・配布資料	前回の資料を見直す
	各コマにおける授業予定	B:ATの役割③ATの活動		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	コーチの役割とその連携、協力について理解できる	・AT教本 ・配布資料	前回の資料を見直す
	各コマにおける授業予定	C:医科学スタッフとの連携		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	内容		
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	医科学スタッフの役割とその連携・協力について理解できる C:医科学スタッフとの連携	・AT教本 ・配布資料	前回の資料を見直す
		授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	記録の必要性とその方法について理解できる D:組織の運営と管理	・AT教本 ・配布資料	前回の資料を見直す
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	ATの倫理について学ぶ E:ATと倫理	・AT教本 ・配布資料	前回の資料を見直す
		授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	倫理規定について学ぶ E:ATと倫理	・AT教本 ・配布資料	前回の資料を見直す
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	学生トレーナーの役割を理解できる 母校実習準備	参考資料 レポート	母校実習先の住所、学 校長のフルネーム、クラ ブ顧問のフルネームを 調べる
		授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	グループでまとめることができる 母校実習準備	参考資料 レポート	ミニ勉強会の担当分野 についてA4 1枚要約し てくる
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	グループごとに勉強会の内容を発表 母校実習GW発表 ディスカッション	参考資料 レポート	配付資料を作成し、グ ループで発表準備を行 う
		授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足関節内反捻挫予防のテapingができる(1) 足関節テaping 練習	アンダーラップ テaping	テapingを切る練習を 行う
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	足関節内反捻挫予防のテapingができる(2) 足関節テaping 練習	アンダーラップ テaping	前回の復習で左右1回 以上練習する
		授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	ATの7つの役割を理解できる まとめ	・AT教本	テキストの内容を復習す る